



ひとにやさしく がんばりすぎずに継続し 勇気をもって しっかり学ぶ 東っ子！414名

【今回の学校だよりは、電子媒体のみでの配信となります。子どもさん向けには担任の先生が教室に掲示して下さっております(ー)】

助産師の皆様ありがとうございました(〜) /

4年生の性教育～参加型ワークショップ形式開催

文科省初等中等局等の見解では、4年生の子どもの性教育は、自己肯定感の向上や性的トラブルの予防、思いやりの心の育成に重要な役割を果たすといわれております。また、性についての基本的な知識やプライベートゾーンの存在を理解することで、子どもたちの健全な成長が促され、自分自身や他人を尊重する力が養われると有識者の皆さんはおっしゃられております。

今回の4年生では、体育科保健領域の学習において、本校区在住の有識者であります助産師でご活躍中の、道園亜希先生、藤田起代美先生、と飯塚病院でご活躍中の山本千紘先生と、山下胡桃先生をお招きして女の子の初経についてと男子の精通について参加型ワークショップ形式で保健学習を実践していただきました。学習後私が子ども達にインタビューしますと「女子がつかうナプキンはかなり水分を吸収します。」とか、「男子も精液とかの水分が出ることがわかりました。」と素直に感想を言っていました。



恥ずかしさが出てきはじめるまえの中学年のこの時期に、初経と精通について実験的なワークショップ形式で学び合うことの大切さを痛感しました。お電話やお客さん等の対応で少ししか同席できませんでしたが、各クラスの代表のお友達からの感想で、1組さん「女子と男子の身体のしくみがよくわかりました。」2組さん「僕たちはまだ子どものままでいたいけど成長していくのはいいことだし、・・・少しずつだけ頑張ってる生きていきます。」3組さん「私は女の子だから女子の身体の事は大変とはわかっていたけど、今日男子の身体のこといろいろあって大変なんだと先生(道園先生)から聞いてわかりました。」と感想を3人が述べてまとめてくれました。すてきなまとめの感想をありがとうございました。



P.s.素晴らしいのは、この3人のお友達が代表で先述の感想を述べてくれましたが、4年生の学年主任の宮原先生が「どんな形でもいいから自分が今日学んだ事への思いを持たた人は立ちましよう。10秒考える時間をあげますね。」とおっしゃったことで、【全員が自分事として考えを持ち





ました起立ポーズ】が取れていたことがベリーグッドなのです。つまり、考える時間を与える。自己主張できる体制、心が整ったら起立する。その中から思い切って自己主張してみようと思った子は立ったまま手をあげる。という発表に至るまでの自己主張できる子どもを育成のためのスモールステップ方式で思考の整理の仕方が4年生で完成されている所です。圧巻だったの

は、担任の4名の先生方の阿吽の呼吸でワークショップの片付けも終わり、小野先生と花元先生におかれましては、拳手から指名までの時間が0、2秒くらいで手を挙げた先ほどの3名のお友達とのアイコンタクトで指名まで終わるといふ子ども達との関係の良さとプロの技が見られたことにも喜びをいただきました。このお子様たちとは入学式から私も一緒にさせていただきましたが、前担任の先生方も子ども達の抜群の成長をお知りになられればきっと泣いて喜ばれることと思います。

終わりになりますが、有識者であり、ゲストティーチャーをおつとめになられました助産師の4名の先生方からメッセージを頂いておりますのでご覧ください。改めましてGTの皆様子ども達のために誠にありがとうございました。



道園 亜希先生・・・『今日皆さんにいろいろお話ししましたが、もし悩み事ができたら、次の2つをメッセージとして送ります。【①皆さんにとって信頼できる大人にだけ話してね。そして、②ありのまま大きくね。】の2つです。』(^_^) ※「あなたの身体も・・・あなたの気持ちもあなたのもの」のお話を思い出します。ありがとうございました。☺

藤田 起代美先生・・・『一期一会』を贈りたいのですが難しいので、次のお話をします。何千何百もの出産に立ち会ってまいりましたが、ここにいるあなたは1人であり何千何百人のなかの貴重な1例として生まれてきてくれた子ども一人ひとりです。今日も子ども達はたくさん大人数がいましたが、あなたはその中の大切なひとりなのです。一人ひとりが様々な出逢いの中から生まれてきた貴重な一人なのです。かけがえのない命をみんなそれぞれが持って生まれてきたことを忘れないでください。今日のことを将来



悩んでいるお友達に寄り添うきっかけになることを願います。(^_-)-☆ ※みんな奇跡のような確率で生まれてきた宝人なのですね。ありがとうございました。☺

山本 千紘先生・・・今日ボランティアとして皆さんに逢いに来ましたが、よく前までは、男の子らしくしなさいとか、女の子らしくしなさいとか決めつけた考え方が浸透していたと思います。でも、今、4年生という多感な時期にこそ「性」について素直に男女が向かい合うことができよかったと思います。

この4年生という時期だからこそお互いの身体の事、体の変化の事を素直に尊重しあって体験しあって和気あいあいで学べたのではないのでしょうか？これからもリスペクトしあって未来へ進んでくださいね。※お互いを尊重（リスペクト）できる子と見抜いて下さいましてありがとうございます☺。

山下 胡桃先生・・・みなさん。今日の保健の学習は、4年生というピュアな年代で、タイムリーな時期に設定されていた事で、楽しく素直な気持ちで学べたのではないですか？私は、性教育を参加型ワークショップで素朴なつぶやきを認め合って学んでいる皆さんの一生懸命な姿をみていてこう思いました。「みなさんが生まれてから今まで生きてきて、とか、これからの未来で生きていくうえで、あなた方の正しい目で、信頼できる大人の人を思い出して、その信頼できる人に、勇気をもって、思い切って気軽に相談できる人になってほしいな。一人で思い悩まないでくださいね。」※お休みのところを子ども達のためにおいでくださりありがとうございました。☺

